

令和3年第5回大口町議会定例会一般質問

質問者	議席番号	4	氏名	近藤時男
-----	------	---	----	------

**1 小口城址公園の「お堀」について**

問（1）	当初の設計では、どのような計画でしたか
------	---------------------

**【回答】**（回答者：建設部長）

議員ご提出の「小口城址公園」のパンフレットのとおり、八つ橋の周りに「花菖蒲」を入れ、季節には目を楽しませる施設とする計画でありました。

## 1 小口城址公園の「お堀」について

問（２）	現在、当初の計画は維持できていますか。
------	---------------------

【回答】（回答者：建設部長）

完成当初の平成11年においては、「菖蒲」は元気な状態でありました。

その後、平成14、5年頃に、「菖蒲」の株分けをしましたが、2、3年経過すると、株が痩せて生息できない状況となりました。

平成18、19年に「わくわくおおぐち21」に協働委託し、再度新たな「菖蒲」に入替をしましたが、2、3年経過すると、株が痩せて生息できない状況となりました。

平成26年頃においても、再度、新たな「菖蒲」に入替をしましたが、前回同様、2、3年経過すると、株が痩せて生息できない状況となりました。

以降、土のままで、水も張られることもなく、現在の状況となっており、当初の計画は維持できていないのが現状です。

## 1 小口城址公園の「お堀」について

問（3）

現在の「お堀」の維持管理の方法は？

【回答】（回答者：建設部長）

草が生えますので、その草刈りを地域の団体（中小口倶楽部）にお願いしております。

## 1 小口城址公園の「お堀」について

問（４）

現在の維持管理で問題は生じていないのか？

【回答】（回答者：建設部長）

管理をしていただいております団体（中小口倶楽部）からは、「八つ橋」等の構造物があり、草の管理が大変であるため、草が生えないように常時水を張ることで抑制ができないかとのお話をいただいております。

## 1 小口城址公園の「お堀」について

問（５）

当初計画を復活するためには何が必要だとお考えでしょうか？

【回答】（回答者：建設部長）

少し、大掛かりになりますが、

1. 「既設シート」の撤去
2. 土入替え
3. 「八つ橋」の耐水化素材への変更
4. 水の循環機能の回復等

が必要と考えますが、「菖蒲を育てるため」に、町が、費用をかけることは避けたいと考えております。

## 1 小口城址公園の「お堀」について

問 (6)	今後の「お堀」の在り方については、いつどのように決めていくお考えですか。
-------	--------------------------------------

### 【回答】（回答者：建設部長）

それぞれ懸念事項がありますので、見かけは悪くなりますが、1期工事として、まずは、既設「防止シート」の部分までの土をとり、草が生えないようにしたいと考えております。

この状態で水を供給することなく年間を通じて水はけが担保されれば、計画案①を基本に、「防水シート」に切れ目を入れることで、排水機能を高めるなどして、「枯山水のようなイメージ」で進めていきたいと考えております。

また、水を張ることができる可能性が高ければ、計画案②を基本に、「八つ橋」を全撤去し、防水シートを更に補強するなどして、「水のある風景」を実現したいと考えております。

工事を段階的に実施し、状況を見ながら進めてまいりたいと考えておりますので、結論を出すまでには、お時間をいただく形にはなりますが、今回の議員のご意見を参考にしながら、今後、検討を重ね「方針」をお示ししていきたいと考えております。

いずれにしても、今あるものを有効活用し、あまり費用をかけることなく整備し、その後の維持管理も考慮しながら進めていきたいと考えておりますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。

また、お地元において、いろいろな計画等があるとは思いますが、「ご協力できること」についてはさせていただきますのでよろしく願いいたします。